



あなたの声をまちづくりに活かそう ～市民討議会「Voice of まくらざき」を開催

■(社)枕崎青年会議所主催(市共催)の市民討議会「Voice of まくらざき～あなたの声をまちづくりに活かす井戸端会議」が5月23日、市内のホテルで開催されました。

この討議会は、市内在住者を対象として無作為に1,000人を抽出、そのうち希望者が参加するという形式で開催され、当日は14人の希望者が出席しました。

討議内容は「安心して子どもを生育てられる環境づくり」と「高齢者が安心して生活できる環境づくり」の2つで、参加者は3つのグループに分かれて討議しました。終始和やかな雰囲気の中、老若男女幅広い参加者からは、様々な意見が飛び交っていました。

参加した木口屋洋さん(美山町・38歳)は「枕崎を気づかせたいという想いはみんな一緒。できることから始めて、枕崎を盛り上げていきたいという気持ちになった」と、また、日渡百合子さん(岩崎町・57歳)は「自分も高齢者を抱えている身。自分の言いたいことも言えて有意義な時間を過ごせた。若い人たちがどんなことを思っているのかも聞けてよかった」と話していました。

枕崎青年会議所の神園健理事長は今回の討議会を終え「参加した方々が活発に意見を交し合っているのが印象的でした」と話していました。今回討議された内容については今後、青年会議所が市役所やマスコミなどに公表します。市としても、今回出された意見等を第5次総合振興計画後期基本計画策定の参考に予定しています。



100歳おめでとう ございます ～田代ヒデさん(寿町)

■田代ヒデさんが5月15日、めでたく100歳を迎えられ、市と市社会福祉協議会から祝い金が贈られました。

田代さんは、若い頃から花が好きで、花の先生として公民館の青年団の方々に教えるなどしていたそうです。これからもお元気で長生きしてください。

※写真は7年前に撮影したものを家族の方にお借りしました。

私たちが枕崎のよかとご案内します ～観光ボランティアガイド「花渡川クラブ」が活動開始

■「枕崎の素晴らしさを紹介したい。そして枕崎が活性化してほしい！」そんな思いを持った7名が集まり、今年の4月から観光ボランティアガイドとして駅前観光案内所を拠点に活動をしています。リーダーの田中勝代さん(写真一番左)は「ささやかな力ではありますが、夢を持って行動しようと思っています。観光客にここを案内したらどうだろうと思うこと等ありましたら教えてください。枕崎の知名度アップに力をかけてください」と話していました。

また、観光ボランティアガイドの方々は、駅前観光案内所周辺に置かれたプランターの管理をするなどして、観光客を気持ちよく迎える活動もしています。



東京枕崎連 おおいに踊躍 ～渋谷・鹿児島おはら祭り 投稿者：東京枕崎会広報 小島芳郎さん

■新緑が萌える5月16日、東京渋谷で「第13回渋谷・鹿児島おはら祭り」が開催されました。若者の街 渋谷で最もにぎわう109前の道路を封鎖し、1,800名の踊り手がそれぞれの華やかな衣装を身にまとい、踊り歩きました。

東京枕崎会も30余名の踊り連を組み、参加しました。今年は、各メンバーも忙しいなか、休日を利用して6回の練習を重ね本番に臨みました。「ヨイヨイ ヨイヤサー」おはら節の掛け声と笑顔、そして黒潮を泳ぐかつおをイメージした衣装をまとい、「枕崎鯉節」の幟を立てて、「かつおの町 枕崎」をピーアールしながら踊りました。

真夏を思わせる陽気の中で、気持ちいい汗をかいた後の打ち上げの1杯は格別です。そして話題は、遠いふるさと「枕崎」の話で盛り上がり、来年も渋谷で楽しみましようとの誓い合いました。



みんながおいしく飲んでくれるように思いを込めて摘んだ新茶がいっぱい売れてよかった。またこのような体験がしたい。重留夏帆さん(3年)

**今年も大好評
なん茶っテイー**
なん茶っテイーは、桜山中学校の生徒が4月23日、木場町での茶摘み体験で摘んだ新茶です。毎年かつおまつりで生徒会が販売するこのお茶は大好評で、今年も用意した約60kgが見事完売しました。

**ぼくたち、わたしたちが主役！
こどもの日 かつおまつり**
■「こどもの日 かつおまつり」が5月4・5日、会場センターを中心に開催されました。今年も両日とも晴天に恵まれ、家族連れなどで大いにぎわいました。恒例のかつお一本釣り大会やかつお節削り大会など、様々な催しにたくさんの子もたちが参加し、楽しく連休のひと時を過ごしました。



ジャンベで黒島の児童・生徒らと交流 ～第28回 枕崎市少年の船

■枕崎市少年の船が5月16日に行われ、児童・生徒や一般参加者など合わせて約100人が村営船「みしま」で黒島を訪れました。少年の船は、明治28年に起こった枕崎の海難史上最大の悲劇といわれる「黒島流れ」と、懸命に救出に当たった黒島住民の温かさを語り継ぐと、昭和56年に始まりました。

3年ぶりの開催となり、黒島の片泊港に入港すると、地元小・中学生の軽快なジャンベの演奏で盛大に出迎えられました。交流会では、黒島の子もたちが枕崎の子もたちにジャンベを指導し、一緒に楽しく演奏しました。参加した上原あづみさん(桜山小4年)は「黒島の人たちと一緒にジャンベを演奏できて楽しかった。黒島流れについても学ぶことができた」と話してくれました。



全国大会を目指し 県内の強豪が熱戦 ～全日本学童軟式野球大会県予選大会

■第30回全日本学童軟式野球大会県予選大会が5月2・3日、市営球場などで開催され、県内各地から支部予選を勝ち抜いてきた強豪16チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

開会式では、枕崎支部代表の枕崎野球スポーツ少年団のキャプテン、加賀山海紀くんが堂々と選手宣誓をしました。枕崎野球スポーツ少年団は、1回戦で始良支部代表の建昌スポーツ少年団に3対2で競り勝ち、2回戦で種子島支部代表の榕スポーツ少年団と対戦。惜しくも1対2で敗れたものの、激戦としたプレーに会場からは大歓声が送られていました。